

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和3(2021)年3月31日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「本日、新体制での全体会議がスタートしたが、幾つかのお願いをしたい。まずは、公安委員会全体会議のメンバーとして力を合わせて、岩手県警察の成果が最大となるようにチームワークに意を注いで欲しいということ。チームワークは信頼から生まれる、信頼は良いコミュニケーションから生まれると考える。良いコミュニケーションは情報の共有と目標の共有から生まれると思うので、この点について是非、心に留め置いていただきたい。次に、各部長は組織の長として、自分の城を守ることは当然だが、やはり全体最適で動くことを常に忘れずにいただきたい。本部長をトップとして全体最適を常に考え、部分最適あるいは個別最適に陥らないように配慮していただきたい。次に、県警察の大きな使命である県民の安全・安心の実現は、特効薬があるわけではなく、日々の積み上げから生まれると考える。リスクを先取りして備える視点も忘れず、将来に備えるということも併せて、大事なポイントとして留意していただきたい。それから、部長はとにかく明るいことが大切だと思っている。部長が暗いと、部全体が暗くなる面が出てくる。壁にぶつかって悩み苦しむ時でもポジティブに行動することを忘れずに、疲れ切った顔や暗い顔を部下に見せないような心がけをしていただきたい。ハッシュタグのドント・ビー・サイレント(# Don't be silent)運動が、全国的な広がりを見せている。『沈黙は金』という諺もあるように、これまでは、組織のトップの発言に多少言いたいことがあっても我慢することが美德だと、日本人の心に長く埋め込まれていたと思う。しかし、自ら発言・発信をしないことは、相手の発言を容認することでもあろうかと思う。公安委員会の全体会議では、ぜひ積極的に発言をいただいて、より活発で前向きな会議を実現させたい。以上、5点を申し上げたが、ぜひ、岩手県警察の使命というものを確かに実現していただくため、この会議が十分機能するものになることを念願していることから、御協力をお願いしたい。」

旨の発言があった。

#### 【警務部議題】

- 令和3年県議会2月定例会の開催状況について

警察本部から、「2月17日から3月25日までの37日間、県議会2月定例会が開催された。警察本部関係の議案等は5件であった。代表質問及び一般質問は2月25日から3月3日までの5日間行われ、1名の議員から質問があり、警察本部長が答弁を行った。総務委員会では、追加提出議案2件について委員からの質疑はなく原案どおり可とされたほか、当初提出議案審査では警察本部関連の議案は無かったが『この際質問』で1名の委員から質問があり、生活環境課長が答弁を行った。予算特別委員会部局審査では7名の委員から質疑があり、警察本部長及び各部長等がそれぞれ答弁を行った。」旨の報告があった。

#### 《 委員発言 》

「交番・駐在所の統合にかかる質疑に関連して、こういった地域に密接な問題は、施策の合理性とプロセスに気を付けなければならない。統合に合理的な理由があることが第一であるが、地域からの意見聴取や決定理由の説明といったプロセスを丁寧に行えば、最終的には県民から納得してもらえらると思うので、その点に配慮して取り組んでいただきたい。」

#### 【交通部議題】

##### ○ 交通機動隊白バイ出動式の実施について

警察本部から、「本年4月8日、盛岡市本宮地内の盛岡市総合アリーナ駐車場において交通機動隊白バイ出動式を実施する。」旨の報告があった。

#### ■個別会議

##### ○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁